

安全就業だより第271号

安全就業対策委員会

令和5年11月10日発行

当センター内で

刈払機による事故が頻発しています

事故概要

発生日時	場所	事故状況
10月18日	除草作業 現場	空地を除草作業中、誤って刈払機で石をはね、隣接する住宅の窓ガラスを破損させた。
10月30日	除草作業 現場	除草作業中、誤って刈払機で石をはね、依頼者宅の窓ガラスを破損させた。
10月31日	公園	公園を除草作業中、誤って刈払機で石をはね、隣接する住宅の窓ガラスを破損させた。



作業前後の現場確認を入念に！！

除草作業も繁忙期を迎え、ますます忙しくなってきましたが、作業前の現場確認は必須です。班長を中心に危険箇所や小石、壁面や地面にあるコード等、全員で事前に現場の状況を確認し、作業に備えましょう。

今回の事故は3件とも、事故当時は作業者が気づいておらず、後になって被害者から連絡が入り事故が判明するといったものになっています。

作業が終わったら周囲の状況（特に近くの手車や住宅の窓ガラス等）を確認し、異常がないことを確かめてから帰路につくように心がけてください。

すぐに事故に気づき謝罪するのと、後からお客様がご自身で見つけて連絡があってから対応するのでは、相手に与える印象も大分違いますので、仮に事故を起こしてしまった場合でも、その場で対応できるように心がけてください。

植木剪定作業中に

傷害事故が発生しました！

事故概要

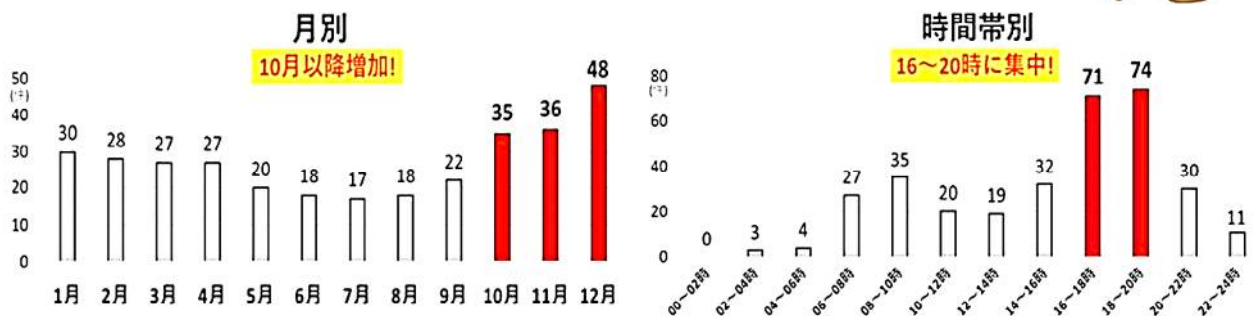
発生日時	場所	事故状況
10月20日	植木剪定作業現場	施設の植木剪定作業中、三脚の位置を移動し登り始めたところ、足を滑らせ下から4段目付近（高さ約70～100 cm）から落下した。 落下した際にかかとから地面についたため、両足のかかとを骨折する重傷を負った。

今回の事故は地面がアスファルトだったため、両足かかとの骨折という重傷を負いましたが、地面が土や柔らかい場所であったとしても1m程度の高さから落下した場合、怪我の危険がつきまといます。

今回は頭を打つようなことがなかったため、命にかかわるようなけがはありませんでしたが、脚立に登るなど高所での作業を行う場合は、しっかりとヘルメットを装着し、脚立を固定するとともに、昇り降りに十分に注意するよう心がけましょう。

秋から冬にかけての歩行者事故の傾向

信号機のない横断歩道横断中の人身事故（平成30年～令和4年の5年間合計）



- 過去5年間の信号機のない横断歩道横断中の事故を月別でみると、10月～12月にかけて事故が増加傾向となっています。
- 時間帯別でみると、16～20時に多く発生しています。

例年、秋から冬にかけて歩行者の事故が増加します。令和5年9月末までの県内の道路を横断中の人身事故を見ると、信号機のない場所に限定してみても横断歩道上を横断中の歩行者の人身事故は起きていませんが、横断歩道のない場所での横断中の事故は12件起きています。道路を横断する際は、横断歩道を利用するようにしましょう。

また、夜間の事故は日中に比べて約3倍となっており、夜間でも反射材を着用した死亡事故は0となっていますので、夜間に出歩く際は必ず反射材を着用するように心がけましょう。

